

社協だより

October 2023 No.116

Beside you

... あなたのそばに ...



CONTENTS

P 2 特集
「気づき」「つながり」「支えあう」
地域づくりを目指して

P 5 赤い羽根共同募金

P 6 ボランティアだより

P 8 社協行事のお知らせ

P 10 老人クラブ通信・チャリティーゴルフ大会

P 11 障がい者福祉の会・食品寄付のお礼

P 12 おおつきで頑張る若者

表紙写真：点字の体験学習イベント

(関連記事 P 7 をご覧ください。)



社会福祉法人
大月市社会福祉協議会



前回の社協だよりにおいて、「第4次地域福祉活動計画おおつき花さきプラン」を策定したことをお知らせしました。今号では、地域福祉活動計画の取り組みに盛り込まれた8項目の事業・活動の一つである、「相談しやすい環境を整備しよう」について紹介します。

大月市社協では、左記の具体的な取り組みを推進し、相談支援体制の充実を図ってまいります。

- (1) 誰もが気軽に相談できる体制づくり
- (2) 困りごと（ニーズ）発見の仕組みづくり
- (3) 相談援助を担う人材の育成

大月市社協では、相談支援の充実を図るため、令和5年度より、新たに「相談支援担当」を設置しました。

現在、日常生活の困りごとや経済的困窮、ひきこもり、就職難などの様々なことでお困りの方や不安を抱えている方が増えてきています。このような背景から、大月市社協では、「総合相談事業」を実施しています。

「総合相談事業」では、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、抱えている問題点を一緒に整理し、問題解決のための助言や提案を行い、相談者が安心した生活を送れるようにお手伝いをします。ひとりで悩まないで、ひとりで抱え込まないで、まずは、お気軽にご相談ください。

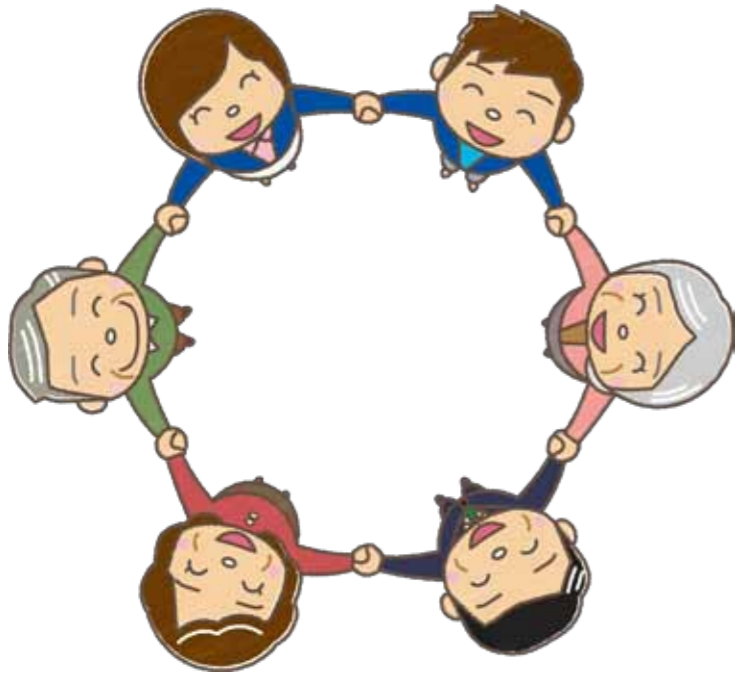
近年、生活困窮・社会的孤立などの地域生活課題が複雑化、多様化し、これまでの分野別の制度や仕組みだけでは支えきれなくなっている現状があります。

地域においても、地域住民同士のつながりの希薄化や核家族化、コロナ禍、長引く不況などの原因により、世代を問わず地域から孤立してしまう家庭や経済的な困りごとを抱える世帯が増えてきています。

こうした社会背景から、社協に相談に来所する人も増えていますが、困りごとを相談できずに困りごとを抱えたまま生活している人もまだまだいます。

地域福祉活動計画の策定にあたり、市民に対して福祉への意識やボランティア活動状況、福祉サービズ、地域づくりに関するアンケート調査を実施した結果、「困ったときは誰に相談するか」の問いに対し、9割以上の方は相談できる相手がいるが、1割の方は、「どこに相談したらよいか分からない」「相談できる人はいない」との次のような回答がありました。

- 家族や親族以外の相談相手
 - ・ 市の相談窓口や職員 57.3%
 - ・ 近所の人、知人・友人 38.8%
 - ・ どこに相談したらよいか分からない 6.2%
 - ・ 相談できる人はいない 2.3%
- ※ 1割の方が 相談できる人がいない！



「どこに相談したらよいか分からない」「相談できる人はいない」と回答した1割の困りごとを抱えている人を早期発見し、適切な支援につなげることが大切です。そのためには、住民同士のネットワークの構築が必要になります。

地域の中で困りごとを持つ人やその家族の状況に気づくことができる機会が多いのは近隣に住む住民です。また、地域の集まりやサロンにおいてのふれあいも「気づき」の場となります。

日常生活の中で「何かおかしい」とか「いつもと違う」などの状況の変化に気づいた時には、市社協や地域の民生委員、地区社協の方々に伝えてください。困っている様子を伝えることによって、必要な支援につながることとなります。

困っている方に「気づき」、地域で「つながる」ことが大切！

〇まわりの変化に「気づく」

私たちは、日々、家族や近所、学校、職場など様々な人達との関わりの中で生活しています。

その中には、ちょっとしたことで生活しづらくなっている方や困りごとを抱えている方もいます。日々の関わりの中でまわりに興味を持ち意識することで、小さな変化に気づくことができるようになります。

誰もが突然のケガや病気などで生活しづらくなることがあります。何かあった時に周囲の人たちから気づいてもらったり、気にかけてもらったりするのはとても心強いことです。

そのためにも、「まわりの変化に気づくことが大切です。」

令和5年度

赤い羽根共同募金運動

10月1日から始まります！

皆様のご協力をお願いします！

● 大月市の目標額

5,620,000円

● どうして目標額があるの？

赤い羽根共同募金は、寄せられた募金を助成先などに単純に配分しているわけではありません。地域福祉を進めるために、どれくらい募金が集まれば必要な事業を行うことができるかあらかじめ計画を立て、それに基づいて目標額を設定し、募金活動を行います。そのため目標額は、最小限度の必要額となります。

● 募金の使い道は？

昨年、大月市でご協力いただいた募金総額は、5,432,086円であり、このうち約7割は今年度の大月市に配分され、残りの約3割は山梨県内の福祉活動などに役立てられています。

大月市では…

- ・老人憩いの家備品整備・修繕事業
 - ・地区社協活動推進事業
 - ・いきいきサロン助成事業
 - ・ボランティアサークル等育成事業
 - ・社協だより発行事業
 - ・ファーストスプーン事業
- など地域の福祉活動に使われています。

山梨県では…

- ・県内福祉施設への助成
 - ・赤い羽根共同募金啓発活動事業
 - ・被災者支援金（災害義援金など）
- など山梨県全域及び全国の被災地など広域で使われています。

また、最近ではコロナ禍により課題に直面している人々を支援する全国キャンペーンに参加するとともに、深刻さが増している子どもの貧困などの支援にも使われています。



赤い羽根共同募金は

大月市をよくするしくみであり

大月の地域福祉活動を支える力になります！



近くにいる人が困りごとに「気づき」、誰かに「伝える」ことができれば、困っている人を助けることができるかもしれません。まわりの変化に気づいたときは、「身近な人に伝えることが大切です。」



○「気づき」を身近な人に「伝える」
自分のまわりで起きていること、普段と少し変わった様子など、まわりの変化に気づいた時には、その「気づき」（心配なこと・困ったこと）を地域の関係者（民生委員や地区社協、自治会など）、身近な人に伝えましょう。困りごとを抱えた人の中には、自分から「助けて・手伝ってほしい」と言い出せない場合があるからです。
また、その近くにおいて、気になっているけれど本人に声をかけたり、他の人に伝えることは、おせっかいだと感じている人もいます。そんなことから、何もできず、どんどん状況が悪化してしまうこともありま

○「気づき」から「つながり」へ
困っている人に気づいたら、誰かに伝えるといった行動をとることが大事です。誰かに伝えることによって、人と人が「つながる」きっかけとなり、見守りの輪が広がります。こうした行動が必要な支援や関係機関につながります。
人と人、人と地域が普段からつながりをもつことで、身近な地域に住む人が課題を抱えることに気づき、地域で課題を発見すること、お互いに支えあう意識や活動にもつながります。
困ったとき、不安なとき、悩んでいるときに、気にかけて相談ののってくれる人が側にいる状況をつくるためには、普段の生活からの「つながり」が大事です。
一人で悩まず相談してください！
私たち市社協や行政、関係機関だけでは、一人ひとりの困りごとを抱えた人に気づくことはできません。何か「様子がおかしい」ことに気づけるのは、同じ地域で暮らす住民の方々です。何か困ったことやちょっとした「気づき」を感じた時には、市社協の相談支援担当につなげてください。
市社協の専門職は、複雑化・多様化する生活課題に対応するための知識や技術を学び、住民の気づきをしっかりと受け止め、適切な支援を行っていきます。



困ったときはお互い様の気持ちを持ち、誰もが安心して生活できるつながりのある地域を創っていきましょう！

ボランティアだより

No.81

「福祉講話」

「大月市立七保小学校4年生 6/22」

七保小学校では毎年「福祉講話」を実施しています。今年度も4年生が「高齢者疑似体験」「パラスポーツボッチャ」を体験しました。

高齢者疑似体験では視界が悪くなるゴーグルや、手足の動きが難しくなるようなおもり等の装具を付けた状態で、階段を歩くなどの色々な動作をしました。児童たちには何気ない日常生活の動作も高齢者には困難な部分もあることを体験することで学ぶことができました。

パラスポーツボッチャ体験では、スポーツを通じて障がい者に対する理解を深める良い機会となりました。



「山梨県立都留高等学校定時制 7/5」

今年も都留高等学校定時制にて、大月市内の手話通訳士の鮎沢愛さんを講師に迎え「福祉講話」を実施しました。

まず生徒たちのスマホから大音量の音楽を流し、会話が通じない状況を作り、聞こえない方とどのような方法でコミュニケーションを図ることができているのか全員で考えました。

紙に文字を書いて伝えたり、手で表現したり、いくつかの方法があることが分かり、その中でも「手話」は聞こえない方とコミュニケーションを図るのに大変便利だということを実感しました。その後、生徒一人一人、自己紹介を手話で出来るように学びました。

自分の名前を手話で表現できるように、実際に聴覚障がいの方に、自分の手話を通じるのか体験してみたいとの感想も聞けました。次回は、聴覚障がい者の方との交流ができればいいですね。



「福祉講話」の学習を通し、高齢者や障がい者、それぞれの特性について学び、理解し、その人の立場に立って考え行動できるように学ぶ良い機会になったと思います。

これから地域で生活する中で、すべての人々に対して、助け合いの心、思いやりの心を持って地域での生活、活動に参加できる人に成長されていくことを願います。

「かがり火市民まつり翌日の清掃活動」8/6

4年ぶりにコロナ禍以前の規模での開催となった「第40回かがり火市民祭り」

大月市ボランティア協議会では、お祭り翌日の朝、実行委員会の役員さんと一緒に、会場周辺の清掃活動を実施しました。

当日は、約20名のボランティア会員が参加し、メイン会場となった大月東小学校校庭周辺の清掃を行いました。

会場周辺には、目の届かないような校庭の隅の方や、雑草の中へ、紙コップや食べ物容器、空き缶、たばこの吸い殻等のゴミがありました。

お祭りへ参加された会員の方からは、「今年のお祭りのお客さんは今までで一番多かったのでは?とても賑わっていました」とのことでしたが、集客数が多かった割には、びっくりするほどのゴミの量ではありませんでした。お客さんのマナーが良かったのかな?

朝早くから暑い中の活動、本当にお疲れさまでした。

来年度以降も大月市ボランティア協議会は「かがり火市民祭り」に協力していきます。



「点字の体験学習イベント」

「点字サークル八重桜会7/29」

「点字サークル八重桜会」は「点字の体験学習イベント」を桂川ウエルネスパークで実施しました。

小中学校が夏休みに入り、親子での参加や、おばあちゃんと一緒に参加された方もいました。

点字体験では、点字で自分の名刺や、自分の好きな物に貼ることができる点字テープを作成しました。参加された方は、サークルの会員の方々と一緒に熱心に点字を打っていました。

その他にも点字で作成した絵本も展示してありました。

点字と触れ合う機会はありませんので、今後このようなイベントを開催しますので、多くの方が体験していただければと思います。



ありがとうございます ご寄附と収集ボランティア活動の報告

(8月31日セツク着受付分)

●寄附金

初狩ボランティア協議会 100,000円/匿名 120,000円/山梨ことぶき勤学院 35期 3,120円/梁川町老連会第一クラブ 50,000円/宮下文男 3,000円 (敬称略)

(*寄附金につきましては、前号での掲載を失念してしまい大変申し訳ございませんでした。)

●ペットボトルキャップ・使用済み切手・テレフォンカード・牛乳パック・ベルマーク・プルタブ・アルミ缶・ハガキ・切手・マスクなど

都留組仏教婦人会連盟/真木正念寺/山梨信用金庫猿橋支店/小俣洋子/渡辺勲/浄土真宗福泉寺/小林清美/山口京子/佐藤総明/駒米秀悦/岡部そえ子/中村律子/奈良武則/天野勝代/山田ますみ/蔦木房子/程原久子/小笠原栄子/上條明彦/井上修一/梁川ボランティア/いきいきサロンかつら/ (株) 平井製作所/瀬川志保/杉本則子/長田洋子/杉本まさ子/小宮山由依/水越繁子/嶋村博美/公明ひまわり/ナーシングホーム猿橋/石井あき子/林博之/小俣和男/石井美知子/池川永枝/降矢珠恵/明治安田生命相互保険会社/神倉集いの場/こわけ作業所/小林佳子/ (株) 公正屋/下真木ふれあいサロン (敬称略)

社協行事のお知らせ

ふれあいスポーツフェスティバルを開催します!!

大月市社会福祉協議会では、高齢者や障がい者、子ども等の年齢の違いや心身の状態の異なる多くの市民が一堂につどい、スポーツやレクリエーションを通じて、ふれあいを深めることを目的に「ツキフェス 23」を開催します。

4年ぶりの開催となりますが、コロナウイルス感染症対策のため、少し縮小した形での開催となります。市民の皆さんの参加をお願いします。



日時 令和5年10月21日(土)
午前9時30分～12時
会場 大月市民総合体育館
(富浜町鳥沢)

※体育館履き(運動靴)、座布団をご持参くださいますようお願いいたします。

申込み・問合せ先：地域福祉担当

Tel: 23-2001 Fax: 22-2861

ふれあい福祉バザーのご案内

4年ぶりにふれあい福祉バザーを開催します。皆様のご来場をお待ちしております。

なお、バザーでの売上金は各福祉団体への助成金や市社協が行う地域福祉事業へ役立てられます。

日時 12月3日(日) 午前9時30分～12時
会場 大月市民会館3階

・詳細については、11月上旬にチラシや回覧等にてお知らせします。

・バザー品(遊休品)の提供についてもご協力をお願いします。提供については11月中旬より収集を予定しております。

・コロナウイルス感染症状況により内容を変更することもあります。

●お問い合わせ先

大月市社会福祉協議会 地域福祉担当
電話 23-2001



第48回

大月市地域福祉推進大会

を開催します!

日時 11月25日(土)

午後1時30分～午後3時45分

会場 大月市民会館

「誰もが住みやすく安心して暮らせるまちづくり」をめざし、地域福祉を推進するべく、第48回大月市地域福祉推進大会を開催します。

地域内のさまざまな社会資源と、住民や民間の福祉関係団体が行う活動を結びつけながら、地域の課題解決に取り組むための住民活動計画である「第4次地域福祉活動計画」を策定しました。

この計画の意味や内容をみんなで理解し、更には地域内に浸透させ、大月市の地域福祉を前進していくことができるような大会にしたいと考えています。

大月市民の皆さん、11月25日(土)は大月市民会館へ、ぜひ足をお運びください。

●お問い合わせ先

大月市社会福祉協議会 総務担当
電話 23-2001(代)

▶ 昨年の講演の様子



大月市委託事業

介護予防・生活支援サポーター養成講座

を開催します!

大月市では、誰もが住み慣れた地域で自分らしく元気に暮らすことができるような地域を目指しています。

介護予防・生活支援サポーターは、支え合い・助け合い活動などのボランティア活動を通じて社会参加や地域貢献をしていただき、お互いに助け合いながらこれからも元気に過ごしていこうというものです。

今回の講座では、ボランティアの基礎やコミュニケーションのとり方など介護予防・生活支援サポーターの基礎が学べます。

○こんな方におすすめ

- ・困っている方のお手伝いをしたい
- ・施設などでボランティア活動をしたい
- ・やりがいや生きがいを見つけない

日時 11月13日(月) 13:30～16:30
場所 大月市総合福祉センター 3階
対象者 市内在住の活動に興味がある方
参加費 無料
定員 20名

※今回、都合が付かない方でも、同様の内容で2/16(金)にも開催します。是非ご参加ください。

●お問い合わせ先

大月市社会福祉協議会 地域福祉担当 電話 23-2001(代)



「ゲートボール大会」

7月6日(木)、令和5年度大月市老人クラブ連合会「ゲートボール大会」を開催しました。

この大会は「山梨県シニアゲートボール大会」の出場権がかかっていることもあり、熱い試合が繰り広げられました。また、90歳以上の参加者3名に記念品が贈られました。

- ◇順位発表…1位 若葉チーム(富浜)
2位 猿橋チーム(猿橋)
3位 梁川チーム(梁川)

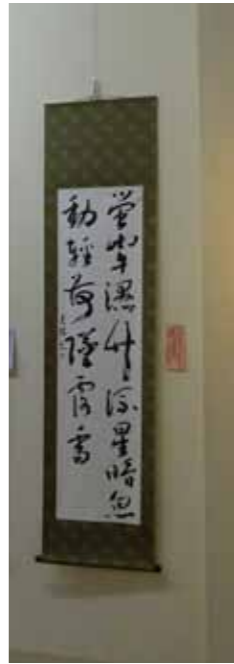


山梨県シルバー作品展

に14名出品しました!

6月に開催された山梨県シルバー作品展で、「書の部」小林光坡さん(初狩町)の作品が「優秀賞」に入賞し、10月28日から開催される「第5回 全国健康福祉祭 愛媛大会」の美術展に山梨県代表として出品されます。

また、「日本画の部」(水墨画)で佐藤武雄さん(賑岡町)が努力賞に輝きました。



▲書の部 (露香) 優秀賞



▲日本画 (水墨画)
(春を待つ) 努力賞

「第22回社会福祉チャリティーゴルフ大会」

が開催されました!

9月18日(月・祝日)「花咲カントリー倶楽部」において、191名の参加により、4年振りに開催されました。

大会のチャリティー収益金等(324,832円)は、大会実行委員会から大月市社会福祉協議会へ寄付され、社会福祉協議会を通して市民福祉向上のために活用されます。

●主催

第22回社会福祉チャリティーゴルフ大会
実行委員会 委員長 小宮 文男

●成績

- 総合の部 優勝 天野 博
女子の部 優勝 杉本 英子
シニアの部 優勝 蔦木 辰己
(敬称略)

●大会開催に際し、寄附及び賞品の提供していただいた方

- ・寄 附 花咲カントリー倶楽部様、
小宮文男様、外1名匿名
・賞品提供 村上雅則様、小林雅英様、
安藤睦美様

ありがとうございました。

報 告

「障がい者ボウリング大会」 8/27

新型コロナウイルスの影響で実施できなかった「障がい者ボウリング大会」を4年ぶりに、都留市の「都留ファミリーボウル」さんのご協力をいただき実施しました。

ボウリングは、誰でも楽しめるスポーツです。当日は50名を超える参加者で大にぎわい。ストライクやスペアをとった時には周りのみんなで大喜び!ハイタッチする皆さんは笑顔で輝いていました。

久しぶりに会員の皆さんでスポーツをすることができ、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

プレイした次の日は、体が筋肉痛に……。



食品寄付への協力のお礼

大月市社協では、7月〜9月にかけてフードドライブ(食品寄付)を行いました。

夏の日差しの暑い中、福祉センターに食品など様々な物品をお持ちいただき、本当にありがとうございました。

皆様のご支援により、合計162kg(9/15時点)のご提供がありました。

これらの食品などは、生活に困っており食品を必要としている方々を支援するために利用させていただきました。

ご協力いただきました皆様のご期待に添うよう、地域福祉の推進により一層努力いたします。

また食品寄付については、随時お預かりいたしますので、ご協力の程、お願い致します。



●ご協力いただきました個人・団体名

- 小笠原栄子 / 高橋明 / やまびこ支援学校PTA福祉部 / 卯月和代
蔦木美智子 / 鈴木雅夫 / 平山繁孝 / 星野信 / 和田千秋 / 金山務
岡部千鶴 / 山本公子 / 梁川地区ボランティア協議会 / 星野信一
匿名の皆様 (敬称略)



ご存じですか？社協のマーク？
このマークは、社協の「社」を
図案化し、「手をとりあって、
明るいまわりの社会を建設す
る姿」を表現しています。

<< 編集後記 >>

今月号もお読みいただきありがとうございます。

皆さま、今年の夏はいかがお過ごしでしたか？

コロナウイルスが5類へ移行して初めての夏。どこか遠出をされた方も多かったのではないのでしょうか？私も少し出かけてみましたが、どこも人、人、人で以前のような活気が戻りつつあるように感じました。

さて、今号では「総合相談事業」を特集しました。最近では生活様式が変化して、ご自身の回りの生活のことや介護のこと、近所のことなど様々な悩み事や心配事などと思えます。誰にも相談できずに悩んでいる方はまず社協に相談してみてください。問題解決の糸口を開くことができるかもしれません。

(地域福祉担当 安藤 博行)

おおつきで頑張る若者 ③⑥



●現在の職業は？

大月市消防本部に勤務し、消防署・警備担当に所属しています。

●大月の好きなのは？

私は岡山県の出身で、都留文科大学を卒業後、大月市に就職しました。学生のころから、自然豊かで、富士山がとても綺麗に見える場所があると気が入っています。また、趣味が溪流釣りや登山であり、この自然がすごく自分にあっていると感じています！

●仕事でやりがいを感じる時は？

出動により傷病者を病院等安全な場所へ搬送します。その際に「ありがとう」と声をかけられたときなど、とても充実感があります。

「我が家のプチ自慢」「おおつきで頑張る若者」を募集しています！！

○応募先・問い合わせ先

メールアドレス fureai@otsuki-shakyo.jp

総務担当 TEL 0554-23-2001

今すぐアクセス！

大月市社協

検索



この「社会福祉・ボランティアだより」の発行費用の一部は共同募金の配分金が使われています。

事務局

〒401-0015 大月市大月町花咲 10 番地 総合福祉センター 1 階

電話 0554-23-2001 (代) FAX0554-22-2861

心配ごと相談・大月市ボランティアセンター・在宅介護支援センター「花さき相談室」
介護プラン「花さき」・ヘルパーステーション「花さき」

デイサービスセンター「やまゆり」

〒409-0501

大月市富浜町宮谷 1518 番地 1

電話 0554-20-1130 FAX0554-20-1132

ホームページ：<http://www.otsuki-shakyo.jp/>

メールアドレス：fureai@otsuki-shakyo.jp